

先生、ごめんなさい

karinomaki

人を攻撃する私

私は最近、人を攻撃する文章ばかり書いています。実は、私は、精神病患者で、最近まで入院していました。入院中も、許せない人を精神的に追い詰めて、先生に部屋に隔離されたことがあるのです。もちろん、私は先生のことすら攻撃しています。先生の診察を拒否したり、先生に何度もたてついています。

しかし、その度に先生は、怒りましたが心から許して下さいました。この文章は、私の先生への気持ちと感謝と懺悔を書きたいと思います。

先生が好き

私は、先生を愛してしまいました。しかし、私は患者なので、その気持ちをおさえなければなりません。

私は、好きになった人から去ろうとするところがあります。しかし、先生を心から失ったら私はこの先生ではいけないことがわかってしまいました。

先生への気持ちは、この世で初めて経験した、永遠の気持ちだったのです。

先生は言いました。「人を攻撃すると自分に返ってくるよ。」と。

しかし、先生、止まらないのです。私を病気にして、差別して、ズタズタにしたこの世の中が憎くてたまらないのです。

助けてほしい

私は強い人間になりたい。そのために人を攻撃する文章を書かざるを得ない、矛盾した弱い人間なのです。

先生はその矛盾をわかって下さっているから、何回も私を許して下さいたのではないのですか。でも、先生、疲れました。助けてほしいのです。

許せなくて許せなくて、苦しいのです。

あこがれ

先生は、私のあこがれなんです。先生の強さが好きなんです。

先生、ごめんなさい。弱くてごめんなさい。人を攻撃する私、人を許して治す先生から見たらなんとおろかなのでしょうか。でも、先生、私、こんなふうには生きられません。

私は精神病を、こうやってしか克服できません。

先生、ごめんなさい。弱くてごめんなさい。

自分のせい

先生は、私に、自分のせいだと反省する気持ちを教えて下さいました。しかし、先生、私はどうしても、自分が病気になってしまったことが、受け入れられないのです。発病して21年たってもまだ・・・。

せめて、もっと早く先生に会いたかったです。

私は20代は別の病院で入退院を繰り返していました。何も無い部屋に8か月もいたこともあります。

私の心の中に、どうしてこんなに恨みがたまってしまったのか・・・。

でも、先生、恨みだけではないのです。

人に踏みにじられ続け、裏切られ続け、じっと耐えてきたら、本当の涙がわかるのです。

悔し涙と、本当に人を思って泣く涙の違いがわかるのです。

私は、それを知るために病気になり、文章で、悔し涙を純化しているのかもしれない、最近是我的流す涙はきれいになってきたのです。

退院

退院したあとも、先生ともめてしまうことがありました。しかし、先生に反抗したあと、反省してなく涙はきれいだったと自分で思います。先生、この世でいちばん美しい涙は、人を愛する涙と、後悔の涙ですね。

だから・・・許して下さい。弱い自分を後悔しています。自分が病気になったことを悲しいです。

その、血のような涙が、私にひどい文章を書かせてしまうので、どうか、先生、私の弱さを許して下さい。

先生に怒られても、嫌われても、私の頭に、文章が降りてきてしまうのです。先生は、「指令」には逆らいなさいとおっしゃいますが、どうしても、「書け」という指令にだけは逆らえないのです。書くために、私は病気になったから・・・。

こんなふうにしてできていく私の文章ですが、もし、人の誤りや、この世界の悪を砕くようなものが書けているのなら、病気になった甲斐があります。私が病気になった理由を見つける旅は、書くことしかないのです。